

社会福祉法人 不二健育会 舟渡居宅介護支援事業所

大島 友紀子(事務職)

功 績 事務局 経理担当として入職し、以後介護資格を取得。特養介護助手・通所介護助手・GH特定技能における認知症基礎研修アドバイザー、こども食堂広報、居宅介護支援事業所事務員として、部署を超えた貢献を「自己の成長の為」と前向きに受け入れ続ける。居宅における「令和7年度 事務職員雇用支援補助金」取得に繋げると共に、R8年度SNS発信における中心的役割を担い、電子同意システムの構築及び生産性向上推進加算Ⅱ取得など、精力的に行動している功績。

推薦者氏名 事務次長 島村健央

推薦理由 不二健育会の経理業務は、1人で担うには規模が大きく、負担が大きい役割況です。その中でも「法人に貢献したい」と強い想いから、介護助手や特定技能の日本語教育、介護OJT、ボランティア窓口、子供食堂担当、居宅介護支援事業所のシャドーワークなど、多岐に渡る業務へチャレンジし、漸く本人の力を最大限発揮できる役割を見つけました。

居宅職員からも感謝の言葉が聞かれ、アウターブランディングを意欲的に行うその姿勢は部署を超えた貢献に留まらず、帰属意識を強く感じます。法人の為に果敢にチャレンジするその意識は職員の手本になると考え、推薦させていただきます。

内 容

令和3年2月に入職した大島は、長年経理担当を担ってきたベテラン職員の後任として入職致しました。入職当初は部署の多さや社会福祉法人独特の会計処理に戸惑いを覚え、理解することに時間を要しておりました。更に予算作成は初めての経験であり、規模の大きさやプレッシャー、求められる役割・業務量の多さに圧倒されておりました。

組織としてもこれ以上の役割を担って貰うことは難しいと判断し、本人と相談していく中「様々な経験を積みたい」や「法人に貢献していきたい」と強い想いを確認したため、職員不足部署への貢献業務を提案しました。介護助手として業務を担える様、認知症基礎研修を受講。特養における入浴介助の外介助及び配膳・下膳・居室環境整備を行い、通所介護においても同様の役割を熟していきますが、そのスピードと専門性になかなかついていけない状況が続きました。

そこで令和7年6月より、GHにおける2名の特定技能1号（ミャンマー）の認知症基礎研修スキームと日本語レクチャーの役割へ転換。無事2名の資格取得と夜勤を含む4交代業務を実現に導いてくれました。そして、居宅介護支援事業所における事務職員退職（怪我）の後任として、現在CMが支援に最大限集中できるようシャドーワークを滞りなく対応してくれていると共に、事務職員雇用支援補助金事業を取得することが

令和3年2月に入職した大島は、長年経理担当を担ってきたベテラン職員の後任として入職致しました。入職当初は部署の多さや社会福祉法人独特の会計処理に戸惑いを覚え、理解することに時間を要しておりました。更に予算作成は初めての経験であり、規模の大きさやプレッシャー、求められる役割・業務量の多さに圧倒されておりました。

組織としてもこれ以上の役割を担って貰うことは難しいと判断し、本人と相談していく中「様々な経験を積みたい」や「法人に貢献していきたい」と強い想いを確認したため、職員不足部署への貢献業務を提案しました。介護助手として業務を担える様、認知症基礎研修を受講。特養における入浴介助の外介助及び配膳・下膳・居室環境整備を行い、通所介護においても同様の役割を熟していきませんが、そのスピードと専門性になかなかついていけない状況が続きました。

そこで令和7年6月より、GHにおける2名の特定技能1号（ミャンマー）の認知症基礎研修スキームと日本語レクチャーの役割へ転換。無事2名の資格取得と夜勤を含む4交代業務を実現に導いてくれました。そして、居宅介護支援事業所における事務職員退職（怪我）の後任として、現在CMが支援に最大限集中できるようシャドーワークを滞りなく対応してくれていると共に、事務職員雇用支援補助金事業を取得することができました。

令和8年度に入り、舟渡拠点におけるSNS普及低迷を相談したところ、毎日blogをInstagramへ毎日アップし始めると共に、若い感性が必要であると特養3名の職員に声をかけ、シフトを調整しSNS連絡会を立ち上げ。TIKTOKのアップする目的、及び取得を開始した生産性向上推進加算IIの会議指針、方向づけ、得意とするPCスキルを最大限発揮し、法人への貢献し続けていております。（R8.4/15現在、Instagram15件アップ、フォロアー 847）

